

農地法の権限移譲について

平成23年8月に成立した「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行により、農地法第3条第1項に係る許可権限のうち、県知事許可とされている権限が、平成24年4月1日から農業委員会へ移譲されることとなりました。



農地法第3条許可のうち移譲されるもの

- 権利取得者がその住所のある市町の区域外にある農地等の権利を取得する場合
- 取得する権利が区分地上権またはこれと内容を同じくするその他の権利である場合
- 権利取得者が試験研究目的など特殊な事情で農地を取得するその他の権利である場合

福崎町農業委員会では、申請書類を毎月5日（休日の場合は後日）締め切りで受け付けています。毎月開催される農業委員会総会（基本日は毎月20日）において、申請書と添付書類・現地確認などの審査を行い、許可（不許可）の決定を行っています。

農地法第3条許可とは

農地の売買・贈与・貸借などは農業委員会の許可が必要です。この許可を受けない行為は無効となります。

平成22年度 農地法第3条申請件数

内容	件数	面積(㎡)	備考
農地法第3条	29	40,311	農地の権利設定・移動など

問い合わせ先 福崎町農業委員会事務局
(産業課内・内線394)

森林の所有者届出制度 4月から始まります

平成23年4月の森林法改正により、平成24年4月以降、森林の土地の所有者となった方は市町村長への事後届出が義務付けられました。



届出対象者

個人・法人を問わず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず届出をしなければなりません。

届出期間

土地の所有者となった日から90日以内に、取得された土地のある市町村長に届出をしてください。

問い合わせ先 産業課 林務係（内線394）

平成24年度の年金額が0.3%引き下げられます

総務省から「平成23年平均の全国消費者物価指数」（生鮮食品を含む総合指数）の対前年比変動率がマイナス0.3%となったことが発表されました。

年金額は物価変動に応じて改定されるため、法律の規定により、平成24年度の年金額は0.3%の引き下げとなります。年金の受取額が変わるのは、4月分が支払われる6月の支払からです。

問い合わせ先

姫路年金事務所 ☎079-224-6385

平成24年度の年金額の例

	平成23年度(月額)	平成24年度(月額)
国民年金 老齢基礎年金(満額)1人分	65,741円	65,541円 (200円)
厚生年金 夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額	231,648円	230,940円 (708円)

厚生年金は、夫が平均的収入(平均標準報酬36.0万円)で40年間就業し、妻がその期間全て専業主婦であった世帯が年金を受け取り始める場合の給付水準

県指定文化財・三木家住宅 保存修理工事報告

三福崎町文化財だより

59

福崎町教育委員会
神崎郡歴史民俗資料館

昨年度から始まった県指定文化財・三木家住宅の修理工事も2年目となりました。

1年目は表門と厩、南土塀の一部の解体を実施しました。今年度からは本格的に主屋の修理工事を開始しました。完成は5年後の平成27年度の予定です。現在、解体工事を進めており、1月時点で瓦降しを完了し、土壁や木部の解体を行っています。

来年度から復元方針や耐震補強などを検討したうえで修復工事に着手します。主屋は事前調査で軸部（柱や梁の構造部分）の破損は限定的であったため、軸部を残しながら修理する半解体工事で進められています。また、工事に並行して建築年代や修理の変遷、技法についてなどの文化財調査を実施しています。

今回は、これまでの調査で明らかになったことをお伝えしていきます。

結果

主屋では、民家ではほとんど見ることができない跳ね上げ式の建具が使用されていたことがわかりました。使用場所は主人のプライベートな空間に通じる部分で、使用人等が入ることのできない、いわゆる結果の役割を果たしていたと考えられます。

土壁の技法
土壁は一般に竹を組み、その上に土を塗ります。しかし、主屋の古くからの壁では、竹の代わりに雑木（桜や榎など）を用いて組まれていることがわかりました。土壁の変遷

戦前頃まで、土間で料理の煮炊きを行っていました。そのため煙で土壁は煤けまですが、調査で壁が十一層も煤けていたことがわかりました。煤ける度に塗り重ねられ、三木家の長い歴史を表しています。

また「なかのま」や「かみのま」などの座敷の土壁では、朱の仕上と同じ色が

中から数層見つかりました。補修でも、同色が使用され、家の伝統を守り続けたことがわかります。

建築の変遷・年号
昨年度に解体した表門では、銀の馬車道の拡張に伴い、明治7年（1874）に改築されたことが墨書からわかりました。

主屋でも部材からさまざまな年号の墨書等が発見されています。「役所のま」の垂壁板には、享和元年（1801）の年号が見つかりました。また西縁側の野地板には、大正6年（1917）に修理したことが書かれています。また主屋西

に付属する湯殿では棟札が発見され、大正6年に建築されたことがわかりました。主屋に付属する内蔵は元禄10年（1697）に建築されたことがわかっており、主屋も同じ頃の建築と考えられています。正確な建築年代は不明なため、今後

も調査を進めます。



十一層塗り上げた土間の壁



修理の状況（野地板の状態）



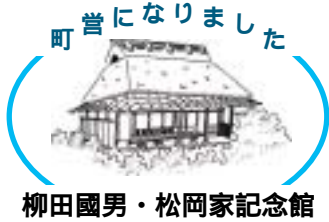
「享和元年」の墨書



木で組まれた壁下地

タヨウ星人に学ぶ生き物のふしぎ ～國男も見たタヨウ星人～

柳田國男・松岡家記念館だより



タヨウ星人の原画を見て生物について楽しい学んでな～



タヨウ星人に学ぶ生き物のふしぎ
～國男も見たタヨウ星人～

会期：3月31日(土)まで
場所：記念館 2階 講義室
共催：兵庫県立人と自然の博物館
～ワークショップのお知らせ～
『生物多様性を遊ぼう』
日時：3月20日(火・祝) 13:30～
場所：柳田國男生家
講師：河南堂珍元齋さん
(兵庫県立人と自然の博物館地域研究員)
鈴木 武さん
(兵庫県立人と自然の博物館研究員)

3月の企画展では兵庫県立人と自然の博物館と共催で「タヨウ星人に学ぶ生き物のふしぎ」國男も見たタヨウ星人」を開催しています。さまざまな生き物たちが、お互いにつながり合っていること、それが生物の多様性です。柳田國男も生物の多様性については、その種類や数の多さに触れ、自身の著書『野草雑記・野鳥雑記』の中で「そ

れにいちいち名があったことが、むしろ不思議なくらいに私は感じられた。」と驚いています。ひとはくで生まれた生物多様性キヤラクタ「タヨウ星人」たち。本展のために新たに生まれたタヨウ星人も登場します。國男も見て触れた生物の多様性をタヨウ星人たちの原画を通じて、楽しく感じていただければ幸いです。



セイブツタヨウヤドカリ
河南堂珍元齋 絵

また、3月20日に「タヨウ星人」の生みの親、河南堂珍元齋さんをお招きし、ワークショップを行います。紙芝居絵巻でタヨウ星人を紹介するので、ぜひご参加ください。映丘が描いたひな人形、記念館では歴民のひなまつりにあわせ、松岡映丘のひな人形の画稿を出張展示します。ぜひご覧ください。

第58回文化財防火デー

昭和24年に法隆寺金堂壁画が焼損した日が1月26日です。その日を文化財防火デーとして、防火防災の啓蒙や訓練を行っています。

毎年、各地でこの文化財防火デーに伴い、歴史的価値の高い文化財建造物で消防訓練を実施することにより、通報要領の確認及び初動防衛体制の確立と防火意識の啓蒙を促すとともに、消防隊の遠距離中継送水の習熟並びに活動能力の向上、また、あわせて付近住民に対する防火心の高揚を図っています。

平成22年度は、西田原(辻川)所在の兵庫県指定文化財の柳田國男生家、旧神崎郡役所(現神崎郡歴史民俗資料館)において行われました。今年度は、姫路市夢前町にある通宝山弥勒寺で「守ろう市民の宝 重要文化財」というスローガンのもとに訓練が行われました。

訓練は、1月26日10時頃、弥勒寺本堂から出火し、敷地内の建物及び通宝山に延焼拡大中で建物内に1人逃げ遅れがあるとの想定で行われまし

た。主眼点としては、文化財管理者による初動態勢(通報避難誘導、初期消火)、消防隊の指揮命令系統及び消防隊と文化財管理者の相互連携活動の確立です。

実際、火事が起これば平常心を保って消火活動を行うことは難しいです。そのため、実際の現場を想定しながら行う消防訓練は重要な訓練の一つです。

特に文化財建造物は、木造であるため、火が発生すれば火が回るのが非常に早く、もし文化財建造物で火事が発生した時は、地域住民のみならず、皆さんの助けが大きな力になります。

今後も防火訓練を実施して文化財の防火防災の啓蒙を行っていきたいと思います。



平成23年度 企画展

ふるさと再発見

～地域資料は郷土のたから～

【協力】神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

入館無料

3月31日
まで開催

歴史民俗資料館だより

歴史民俗資料館では、毎年3月に神戸大学大学院地域連携センターとの共同研究成果をご覧いただく企画展を開催しています。

今回は、昨年10月の特別展でご紹介した柳田國男書簡のパネル展示をはじめ、江戸時代の三木家当主が姫路藩内でのような人間関係を持つていたかを知ることができる『書啓底簿』などの三木家史料を展示します。

また、平成24年度特別展の題材となる『播磨国風土記』については、その記述や神前山など町内の比定地を紹介し

ます。
あわせて、現在行われている三木家改修工事に関する展示を行いますので、ぜひご覧ください。



書啓底簿
弘化3年(1846)
三木家文書



神前山から見た福崎町

同時開催

みんなのひなまつり

企画展開催中、展示室では今年も「みんなのひなまつり」展を開催します。

折り紙や布などで作った手作りのひなかざりはありませんか。もしお持ちでしたら資料館までご連絡ください。

☎ 22・5699



ひなかざりの作品

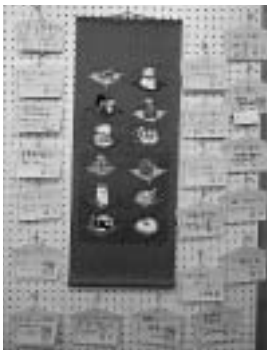
平成23年度
ふくさき歴史体験写真展

活動18年目となった平成23年度ふくさき歴史体験隊は、49人の隊員といっしょに活動しました。
隊員たちの生き生きとした表情をぜひご覧ください。



れきみん絵馬コーナー報告

今年初めての試みとして、来館者の方にれきみんオリジナル絵馬を書いていただきました。おかげさまで多くの方に参加いただき、素敵な展示ができました。ありがとうございました。



絵馬展示のようす

共同研究報告会のご案内

神戸大学大学院地域連携センターとの共同研究調査成果報告会を開催します。

特別展で紹介した柳田國男書簡や三木家史料をはじめ、さまざまな時代の福崎町域の歴史の話や大庄屋三木家住宅の保存・修理工事の最新情報などを報告していただきます。また、昨年夏に行われた『播磨国風土記』の比定地調査についても聞かせていただく予定です。

郷土の歴史再発見の時間をお楽しみください。
日時 3月10日(土)
13時30分

場所 歴史民俗資料館2階
報告 地域連携センター
研究員他



調査のようす

海軍大佐
松岡静雄の見た世界

昨年、記念館では、特別展「海軍大佐 松岡静雄の見た世界」を開催しました。

本展では、柳田國男の弟・松岡静雄に焦点を当てました。筆まめであった静雄が戦地から國男に宛てた手紙や自身の行動記録である「奉職履歴」などを展示しました。これらの資料から静雄の行動や思いを読み解くことができました。

また会期中、近畿医療福祉大学から岩井忠彦先生に来ていただき、静雄や日露戦争当時の世界について貴重な講演を行っていただきました。会期中には、1129人の方に来館いただきました。



多く方にご来館いただきました
ありがとうございました

民俗学のふるさと福岡
幼き國男に刻まれた福岡文化

昨年、歴史民俗資料館では、特別展「民俗学のふるさと福岡」幼き國男に刻まれた福岡文化」を開催しました。

本展では、國男の著書『故郷七十年』から明治期の福岡を紹介したほか、國男が三木家に宛てた書簡や、三木家の豊かな学芸文化を知ることができる資料など約60点を展示しました。

会期中には、1015人の方に来館いただきました。本展の開催にあたり、資料調査などご協力いただきましたみなさんに厚くお礼申し上げます。



特別展図録「好評発売中」
(A4判・24ページ、300円)
歴史民俗資料館で販売しています。

あとがき

辻川にある県指定文化財・三木家住宅は、屋根の破損や、建物の傾きが大きくなるなど、経年変化による破損が進んでいました。福岡市は貴重な文化財を後世に残すために、県の補助金を得て、本格的な修理工事を開始しました。

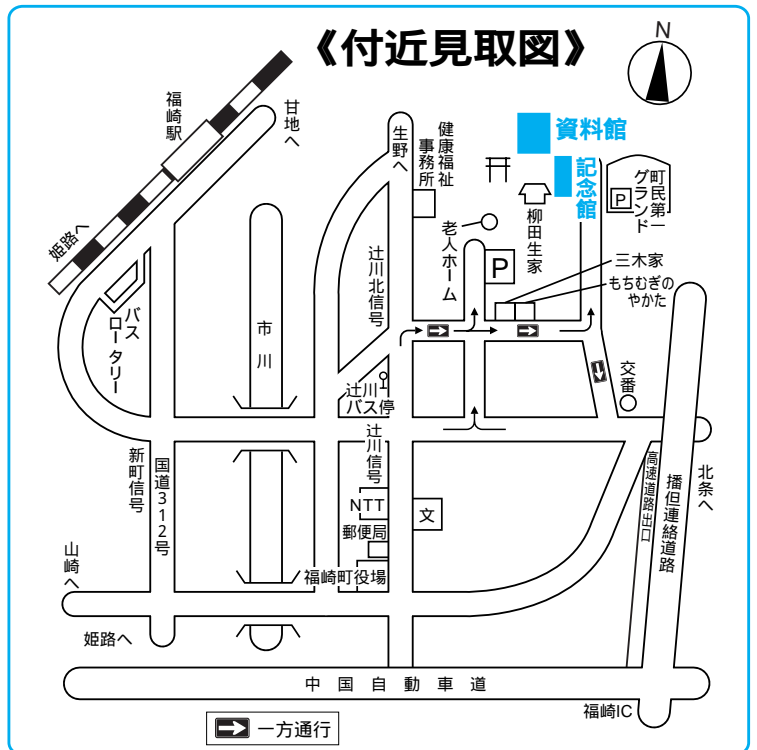
平成22年度から工事を開始し、表門と厩・土塀の一部を解体しました。平成23年度から主屋の修理工事に着手し、5年後の平成27年度に完成する予定です。現在は解体工事を進めており、瓦降しを完了し、土壁や木部の解体を行っています。

また、工事に並行して、建築年代や修理の変遷、技法について文化財調査を実施しています。表門は、墨書から、銀の馬車道の拡張に伴い明治7年に改築されたことがわかりました。

主屋では使用されている部材から、天明2年や享和元年、明治4年、大正6年など、修理のさまざまな年号の墨書等が発見されています。

今のところ、主屋の建築年代は不明なため、今後調査を進めて明らかにしていきたいと思えます。㊟

《付近見取図》



記念館・歴民利用案内

開館時間
午前9時～午後4時30分
休館日
月曜日、祝日の翌日、12月28日～1月4日

入館料 無料
交通 JR 播但線で福崎駅下車、徒歩約30分、またはバス・タクシーを利用。
車は播但連絡道路・中国自動車道で福崎ICから約5分、または国道312号線を利用。



福崎町文化財だより ㊟
発行 平成24年3月1日

・福崎町教育委員会

福崎町南田原 3116 の1

☎ 07990220560

・神崎郡歴史民俗資料館

福崎町西田原 1038 の12

☎ 07990225699



「あそびのひろば」

ぐりとぐら 毎月第1木曜日 10:00~11:00
 4月5日(木) 文化センター 2階 和室
 わらべうた・絵本の読み聞かせ・パネルシアターなど、
 親子でいっしょに楽しめます。
 ドレミ 毎月第2木曜日 10:00~11:00
 4月12日(木) 八千種研修センター
 季節の歌を歌ったり、音に合わせてリズム遊び、身体
 遊びなどを楽しめます。
 (問い合わせ先: 子育て学習センター)

おしゃべりティータイム

テーマ: 「時間のゆとりは心のゆとり」
 ~子どもと過ごす大切な時間について
 みんなで話し合いませんか?~
 日時: 4月17日(火) 10:00~11:30
 場所: 文化センター 1階 和室
 おやつ: ヨーグルトムース、ハーブティー
 食物アレルギーのある方は申込時にお知らせ
 ください。
 おやつ代として1人50円が必要です。
 申込締切: 4月13日(金) までに子育て学習センターへ
 同じ部屋で託児をします。おかあさん、お茶を
 飲みながら、しばしリフレッシュしませんか?



平成24年度子育て学習センターの 親子活動に参加しませんか?

いろいろなあそび、交流、子育てについての学習、情報交換
 などを通して、いっしょに考え、楽しく子育てしませんか?
 対象 町内に住む母・父・祖父母と、0歳から保育所入所・
 幼稚園入園までの子ども
 活動日時 平成24年4月~平成25年3月
 火~金曜日の月数回 10:00~11:30
 活動場所 文化センター2階 子育て学習センター「ともだちひろば」ほか
 申込方法 申込用紙は子育て学習センター「ともだちひろば」にあ
 ります。必要事項を記入のうえ、お申し込みください。
 申込締切 3月23日(金)

子育て学習センター(ともだちひろば)

開設日時
 火・水・木・金曜日 9:00~15:00 } (祝日を除く)
 第4土曜日 9:00~12:00 }
 個別相談 4月17日(火) 10:00~14:00
 相談員: 大内和恵さん
 福崎町福田176-1(文化センター2階)
 ☎22-7830 Fax22-2561

ワイワイ ガヤガヤ ストレス解消! いっしょにおしゃべりしませんか?

子育て中のお母さん。ちょっと一息つきませんか? 子
 育てに関するだけでなく、どんなことでもかまいま
 せん。子どもといっしょに遊びながら、おしゃべりを楽
 しみませんか?
 日時 3月27日(火) 10:00~11:30
 場所 子育て支援センター
 テーマ 「何でもOK!」
 絵本の読み聞かせやわらべうた遊びもします。
 個別相談員、スタッフもごいっしょします。
 対象 就学前の子どもとその保護者
 申込方法 子育て支援センターへ
 定員 15組

公園で遊ぼう

お友だちといっしょに公園に出かけ、楽しい時間を過ご
 しませんか? お子さんと遊びながら子育ての悩みを話した
 り、情報交換をしたりして、ゆっくり楽しんでください。

日程	実施場所	時間
4月16日(月)	イーストパーク(南大貫)	10:00~11:30
4月18日(水)	スポーツ公園(福田)	10:00~11:30
4月23日(月)	市川河川公園(新町)	10:00~11:30

 駐車場はあります。
 持ち物 お茶
 申込方法 子育て支援センターへ
 現地集合現地解散で、雨天の場合は中止となります。
 不明な点は、子育て支援センターにお問い合わせください。

手作りのフォトフレームに お子さんの写真を飾りませんか?

おひさまらんどで遊んだりおしゃべりを楽しみ
 ながら、簡単にできるかわいいフォトフレームを
 いっしょに作りませんか?
 日時 4月10日(火)・11日(水)
 いずれも10:00~11:30
 場所 子育て支援センター
 対象 就学前の子どもとその保護者
 用意するもの 布地(50cm×50cm以上)
 申込方法 子育て支援センターへ
 定員 各日とも8組



子育て支援センター(おひさまらんど)

開設日時
 月曜日~金曜日 8:30~17:00 } (祝日を除く)
 土曜日 8:30~12:30 }
 個別相談 3月6日(火) 10:00~14:00
 相談員: 井手晴子さん
 福崎町福崎新448-3(福崎幼稚園内)
 ☎22-2308 Fax22-2313

子育て支援に関することは Eメール ko-shien@town.fukusaki.hyogo.jp
 4月からの個別相談は、子育て学習センター(4月から西部子育て学習センターに
 名称変更)1か所で行います。